

# 排出権取引を考える

大串 卓矢



大串 卓矢(おおくし・たくや)  
株日本スマートエナジー  
代表取締役社長

1992年東京大学農学部卒業、1993年中央青山監査法人入所、1996年公認会計士登録。  
2000年地球温暖化問題サービス開始  
2006年株式会社日本スマートエナジーを設立し、代表取締役に就任。  
現在、海外のCDMに対する投資活動、国内CDM制度の整備に従事している。  
主な著作に「排出権の仕組み」(中央経済社)「温対法と省エネ法」(省エネルギーセンター)などがある。

「夢を実現するには期限を設定し、それに向かって継続的に努力をすること」。自己啓発本に必ず書かれている言葉である。この言葉を疑う人はいない。しかし、現実には夢を途中で放棄し、忘れたふりをするのが普通である。さまざまな現実的な問題と折り合いを付け、夢を追うことはなんと難しいことだろう。

日本は50年後にCO<sub>2</sub>排出を半分にするとという大きな目標を打ち立てた。50年後も人類が幸せに生き続けるという夢を実現するための、具体的な努力目標である。確かに、この夢を実現するために、期限設定が必要である。5年ごとに5%排出削減を達成するという京都議定書の目標が現実の法的義務となった。

美しい地球環境を娘や息子に引

き渡すという夢に反対する人はいない。しかし、現実問題として5年でCO<sub>2</sub>排出を5%削減する義務に対して、企業の反応はさまざまだ。CO<sub>2</sub>の削減活動は企業の新たな経費となり、最終的にはわれわれがそれを負担することになる。はたして、そこまでする必要があるのであるのだろうか。同じお金を使うなら高速道路の整備に費やした方がいいという意見は理にかなっている。

私の会社は、排出権取引の精神を実践することをモットーとしている。排出権の精神とは、CO<sub>2</sub>削減を実施した人、CO<sub>2</sub>削減を実施したくない人をみんながサポートする社会を実現することだ。具体的には、途上国の省エネルギープロジェクト、バイオマスプロジェクトに投資をしたり、排出権を購入してCO<sub>2</sub>削減

活動をサポートしている。しかし、そのときいつも思う。「なぜ私たちが大金を使って、緑もゆかりもない国のエネルギー整備を支援しなくてはならないのか」。たとえば、東南アジアで栽培されているパーム。いま、パーム油が高騰しているため、現地パーム会社は資金的に余裕がある。お金に余裕があるのはむしろ彼らであり、そんな彼らを支援する意味があるのかと感じる。

もちろん、排出権取引制度を作らなければ彼らはこれからも未利用バイオマスをエネルギーを使うことはないだろう。大量の石炭や重油を消費し、CO<sub>2</sub>は大量へまきちらされる。排出権取引によりそれが緩和されることは間違いがない。しかし、排出権取引には支援する側と支援される側にコミュニケーションがな

く、支援に感謝する心、支援できる喜びが欠けている。先進国側には義務感があり、途上国側には「空から月餅が降ってきた」という不思議さがある。排出権取引は便利だ。わざわざ、途上国に行つて支援しなくとも、排出権さえ買っておけば、誰かがCO<sub>2</sub>を削減してくれる。しかし、排出権取引はネット取引のような無機質感がどうしても伴う。

先日、友達と温暖化問題について議論をしたのだが、50年後に向けて努力すべきであるという自説を友達は笑っていた。そうじゃない、いま自分でできることを考え、自分のまわりの人を幸せにする努力を考えれば自然とその輪は広がるはずだと。確かに、その考えには感謝の気持ちがある。排出権取引に忘れたものがある。

## 「平成20年問題」直前対策 第7弾

# 新会計基準の 影響と対応

特集

適切な方針の設定と周知・体制整備が重要

基準適用が財務会計に与える影響と対応 ..... 10

伊藤 久明(ベリングポイント㈱ 公認会計士)

棚卸資産、在外子会社、リース基準にみる

新会計基準の管理会計上の留意点 ..... 15

山田 和延(ベリングポイント㈱ 公認会計士)

在外子会社の連結対策から考える

四半期・連結システム支援の着眼点 ..... 20

東 雅彦(ベリングポイント㈱ 公認会計士)

談論

排出権取引を考える ..... 1

大串 卓矢(㈱日本スマートエナジー 代表取締役社長)

連載

● 経理マンのための「やりなおしの金融」論

〈第7回〉金融機関の種類と役割(その3) ..... 24

林 康史(立正大学経済学部 教授)

● ビジネス実務相談室

経理 ◆ 公益法人における消費税の処理 ..... 54

税務 ◆ 平成20年度・法人税制の改正案 ..... 55

コラム

● アナリストの眼 輸出による成長機会が到来した日本酒市場 ..... 49

● Inほんmation ◆ 新刊案内『減価償却の税務 基本から判例まで』 ..... 63

● 情報フラッシュ ..... 4

● ランキング 月間ビジネス書ベストセラー ..... 64

